

2023年2月24日



報道関係者各位

こども防災協会

風向きをよんで、SUPで前進。

【なつのうみのぼうけん】を開催しました！

2022年8月6日(土)~8月7日(日)【香々地青少年の家】

「こども防災協会」は小学生と留学生ボランティアの方々と一緒に、8月6日~7日に"いざという時、生きのびる(72時間)こどもを増やすこと"・"さまざまな国の文化や習慣に触れ、共生の感覚を持つこどもを育てること"を目的として、「なつのうみのぼうけん」を開催いたしました。

このイベントは、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環で実施しています。



イベント概要

イベント名: ネイチャーぼうけん&防災キャンプ【なつのうみのぼうけん】

日程: 2022年8月6日(土)~7日(日)

場所: 香々地青少年の家

参加人数: 合計21名

参加者内訳: こども12名(小学生、内 被災経験 1名) / ボランティア6名 / スタッフ2名 / バス運転手1名

ボランティア出身国:全2カ国(エジプト、ミャンマー)

SUPにのろう

ボードの上に立ち、パドルで進んでいくSUP。はじめに、ライフジャケットのつけ方やパドルの使い方を学習してから、海へ向かいます。雲ひとつない青空の下、子どもたちはボードに座って慎重にスタート。慣れてくると立ち上がり、パドルを上手に使いこなして動き回っていました。なかには自分から海に落ちて、はしゃぐ子も。風が強く吹いた時には「風でどこまで流される?」「どの風向きなら前進しやすい?」など、それぞれに試行錯誤。波と風について理解を深めていました。



ロープワーク(うみのレスキュー)

1本のペットボトルとロープを使い、溺れている人を助けるためのレスキューロープを作りました。ワークシートを見ながら、お互いに教え合って完成させます。その後、ボランティアスタッフが溺れている人の役をし、どのようにロープを投げれば届くのか試行錯誤。ボトルに少量の水を入れ、下から投げると相手に届く確率がグンと上がることが分かりました。また、溺れている人を引き上げるとき「1人だと危ない!一緒にやろう!」と、学びを活かしチームワークが生まれていました。



参加した子ども・保護者からの声

「SUPのボードに立つのが、最初は怖かったけど、海の上で立てたときは嬉しかったです。」「ロープを溺れている人のところに狙ったところに投げるのが難しかったけど、練習したら少しコツがつかめました。」

<団体概要>

団体名称 : こども防災協会

URL : <http://kodomo-bousai.net/>

活動内容 : 防災に役立つ判断力と行動力を学べる「こども防災キャンプ」を実施しています。キャンプには、留学生ボランティアも多数参加。さまざまな国の文化や習慣に触れながら、災害に関わる英語も一緒に学ぶことができます。



日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

<お問い合わせ先>

団体名: こども防災協会

担当者名: 鹿島 美織

電話: 090-6684-9696

メールアドレス: volunteer@kodomo-bousai.net